

吹田市地域自立支援協議会地域会議 取組状況

1. JR以南 地域

年度	センター名	内本町障がい者相談支援センター
令和4年度 取組内容	・ 精神障がいがある人が地域で生活するうえで直面している困り事について考える。 ・ 精神障がいがある人が地域で安心して生活していくために、地域課題としてまず取り組むべき課題は何であるかを検討する。	

令和5年度
取組内容
(予定を含む)

- 「精神障がいへの理解を深めるためのツールを作成する」
- ・精神障がいへの理解を深めるための啓発ポスターを作成する。
 - ・参加者が協働してポスターを作る事でネットワークの構築を図る。

開催予定回数:2回(第1回 8月中旬で調整中)

2. 片山・岸部 地域

年度	センター名	片山・岸部障がい者相談支援センター
令和4年度 取組内容	【目的】 精神症状で危機的な状況に陥った場合～地域共生社会に向けて、吹田で行えることを考える～ ・ 第1回 事例検討 : 2事例の検討 ・ 第2回 グループワーク : 地域で生活している住民として考えてみよう ・ 第3回 地域アセスメント : 社会資源・実態調査の検討	

令和5年度
取組内容
(予定を含む)

- ① 「トラウマインフォームドケア(TIC)」をテーマとして、研修を開催する。吹田市内の保健・医療・福祉・教育・行政等の職員を対象とし、支援者に適切な支援について学んで頂くことと、支援者のトラウマ(二次被害)を軽減・予防することを目的とする。
開催予定:第1回目を11月上旬で調整中
- ② 福祉サービスの情報提供ツールとして社会資源マップの作成

3. 豊津・江坂・南吹田 地域

年度	センター名	豊津・江坂・南吹田障がい者相談支援センター
令和4年度 取組内容	・ テーマ「母子支援に関わる課題等の検討」 福祉、医療、教育、行政それぞれの立場で事例を通して見えてきた意見を抽出した ・ 関係機関とより連携を深めるためにはどうすればよいかグループワークを行った ・ 各関係機関と地域との繋がり ・ 相談窓口の一体化	
令和5年度 取組内容 (予定を含む)	・ 6/30 第1回開催 テーマ「母子支援にかかわる課題等の検討」 →昨年度の事例検討結果に基づき、関係機関同士がそれぞれの役割を理解し、児童から成人を対象に適切な相談機関に接続できるような、切れ目のない支援を実現させる必要性を共通認識するに至った。 →これらを踏まえ、障がい児者の相談機関窓口・通所事業所情報の一元化冊子の作成を今年度の成果物として作業することで合意。 ・ 下半期の秋頃に成果物の取組状況を共有・修正を図り、年度末までには完成予定。	

4. 千里山・佐井寺 地域

年度	センター名	千里山・佐井寺障がい者相談支援センター
令和4年度 取組内容	① 要援護者の災害時の避難と避難時の困りごとについて考える(危機管理室、福祉総務室からの説明や当事者等に対するアンケートから考える) ② 障がい等がある人の日中活動の場の紹介と地域のつながり(障がいのある方への対応に関して、地域の方が事業所に対し気軽に相談へ行ける関係づくり)	

- 令和5年度
取組内容
(予定を含む)
- ① 読書バリアフリー計画の策定を契機に、図書館が行っている障がい者サービスを知っていただき、障がい児・者の読書支援について考える
 - ② 個別ケースから災害時避難について考える

5. 山田・千里丘／千里NT・阪大・万博 地域

年度	センター名	亥の子谷障がい者相談支援センター・千里ニュータウン障がい者相談支援センター
令和4年度 取組内容		- 地域会議を運営する構成員(サービス事業所・医療にかかわる機関・社会福祉協議会・大学の先生などで構成された9機関13名+事務局として2センター)とともに、3年間の任期で地域課題を導き出すところから討議を開始 - 千里ニュータウン・亥の子谷、双方の地域における共通課題(事業所が少ない、大型マンションの建設が予定され、人口流入が激しい等)を理解し、「ネットワークづくり」をテーマとすることを全員で確認 2022年度は3回(9/20・12/16・2/24)の会議を開催し、次年度以降、具体的な検討に着手
令和5年度 取組内容 (予定を含む)		- 今年度、第1回目の地域会議(5/26)において、以下3点を確認。①.「ネットワークづくり」をテーマに据え、<Team kitaラボ>と題したWGを開始、②. 構成員の残りの任期2年を鑑み、組織体制を18機関25名に強化、③. 2センター合同の地域会議(年3回予定)と、ラボのとりくみ、この2つの活動を両輪に会議運営を図る <Team kitaラボ>においては、「まなぶ」「つながる」「しらせる」の3本柱のとりくみを始動、具体的に、構成員が「まなぶ」「つながる」のラボ(WG)に分かれ、「しらせる」を事務局が担うことで動きをつくり、「まなぶ」のWGは7/11、「つながる」のWGは7/21、第2回目の地域会議は9/29の開催予定 - ネットワークの性質とつながりの重層性を理解した上で、当事者はじめ地域の声も聴きながらとりくみを進めていけるよう、地域支援の意義と効果を適宜確認しつつ、地域会議・ラボ(WG)双方の活動をおこなう予定